

Unify VISION 4 (Unix) インストールガイド

インストールの前に

- ・ 本リリースをインストールし動作させるには、弊社発行のライセンスキーが必要になります。まず、本リリースに添付されている「ユーザ登録書（兼ライセンスキー発行依頼書）」に必要事項をご記入の上、FAXにて弊社までご返送下さい。折り返し、ライセンスキーを発行致します。
- ・ 本リリースをインストールするには、開発システム版(Unify VISION AppBuilder)では約 **200MB**、ランタイム版 (Unify VISION AppServer)では約 **110MB** のディスク容量が必要になります。インストールする前に、十分な空きディスク領域を確保するようお願い致します。
- ・ Window System X11R5 が必要です。
- ・ 実メモリは、開発システム版では **32MB** 以上、ランタイム版では **24MB** 以上が必要です。
- ・ VISION リリース 2 または 3 からアップグレードする場合は、必ず「Unify VISION Migration」マニュアルをご参照下さい。
- ・ VISION リリース 2 からアップグレードする場合で、かつ `.vision.vr` ファイルの機能をカスタマイズしている場合は(例: カスタムクラスやカスタムコマンドを登録している)、現行の `.vision.vr` ファイルを削除しないで下さい。VISION リリース 4 を始めて起動した時に、この `.vision.vr` ファイルから全プリファレンス情報が取得され該当情報は `.vision1.vr` ファイルに格納されます。
- ・ VISION リリース 4 では、`$HOME` の `.vision.vr` および `.vgalaxy.vr` ファイルは使用されません。代わりに `.vision1.vr` および `.vgalaxy1.vr` ファイルが使用されます。これらのファイルは、リリース 2 とリリース 4 では互換性がありません。

Unify VISION のインストール

次の手順にしたがってインストール作業を行ってください。システムのスーパーユーザで作業を行ないます。もし、ご不明な点がございましたら、お買い上げいただいた代理店もしくは Unify Japan サポートセンターまでご連絡下さい。

テープからのインストール手順

以下は、テープからインストールを行う場合の実行手順です。

1. まずインストールするディレクトリ (例: `/home/vision`) を決め、そのディレクトリに移ります。

```
mkdir /home/vision  
cd /home/vision
```

注) 下記のディレクトリには、VISION をインストールしないで下さい。

```
/          /bin          /lib          /etc  
/usr       /usr/bin      /usr/lib
```

2. `umask` を `000` に設定してください。

```
umask 000
```

3. テープより **tar** コマンドでリリースを読み込みます。

```
tar xvbf 20 device
```

テープドライブがリモートホストにしかない場合は以下のコマンドを使用してください。

```
rsh remote_host dd if=device bs=20b | tar xvbf 20 -
```

4. UNIFY 2000 をお使いの場合には、環境変数 **UNIFY** に UNIFY 2000 リリースの **lib** ディレクトリが設定されていることを確認して下さい。

5. **LD_LIBRARY_PATH** 環境変数に X11 ライブラリのパスが含まれていることを確認して下さい。
システムによっては設定すべき環境変数が異なる場合がありますので御注意下さい

6. 弊社より交付致しましたライセンスキーを **install/license.key** ファイルにエディタ等で入力して下さい。もし、このファイルに入力しない場合には、インストール中にライセンスキーの入力が要求されます。

7. インストール・ユーティリティを実行します。インストール中にいくつかの質問をしますが、ほとんどの場合、<return>を押すだけでかまいません。

```
install/install
```

8. **install/license.key** にライセンスキーが入力されていない場合、ここで以下のメッセージが出力されライセンスキーの入力方法を選択することができます。

```
A licensing key has not been entered in the file "install/license.key"
```

```
Select one of the following licensing options:
```

- 1) Enter license key now.
- 2) Continue installation and license the release later.
- 3) Terminate installation.

```
Selection:
```

- 1 を選択するとライセンスキーを入力するよう求めてきますので、キーボードより入力して下さい。

```
Enter your license key ('sh' for shell, 'x' to exit):
```

ライセンスキーを入力すると、確認のメッセージが表示されますので、**y** を入力して下さい。

9. 以上でインストールは終了です。インストール中に表示されたメッセージはすべてリリースディレクトリの **installmsg** ファイルに記録されています。インストール中に問題が発生した場合は同ファイルを Unify Japan サポートセンタまでお知らせ下さい。

10. **diag/prlcnf** ユーティリティを使用して、正しくライセンスが埋め込まれていることをご確認下さい。

```
% diag/prlcnf bin/vision (出力は一例です)
custid = xxxxxx
hostcd = xxxxxxxxxxxxxx
max usr = 99
```

```

current time          = 10-30-1999
installation date     = 10-30-1999
expiration data       = 12-31-2020
executable capabilities:
  Accell/SQL          is NOT allowed
  Unify VISION        is allowed
  Developmem          is allowed
  VISION Application Server is NOT allowed

```

CD-ROM からのインストール手順

以下は、CD-ROM からインストールを行う場合の実行手順です。

CD-ROM からインストールを行う場合には、他のテープ媒体のように、いったん tar あるいは cpio よるリリースの読み込み作業は必要ありません。

CD-ROM をマウントし、そのマウントした CD-ROM のリリースのディレクトリから直接インストールプログラム(install/install)を実行します。

その後は、インストーラのガイドにしたがって、インストールを行って下さい。

1. CD-ROM をマウントします。

CD-ROM のマウントの方法については、システムにより異なりますので、各システムのマニュアルをご参照下さい。

2. マウントした CD-ROM のディレクトリに cd します。

```

% cd /cdrom
% pwd
  /cdrom

```

3. ls でファイルのリストを確認すると、ボリューム名が表示されますので、そのボリュームに cd すると、カレントディレクトリがリリースのディレクトリになります。

(マシンによっては、もう1回 cd する場合があります。)

```

% ls
unify_vision_4_0b2_XXX

```

但し、xxx は商品により異なります。

```

Unify VISION AppBuilder:  web_dev
Unify VISION AppServer Enterprise:  runtime
Unify VISION AppServer Desktop:  web_rt

```

```

% cd unify_vision_4_0b2_XXX
% pwd
  /cdrom/unify_vision_4_0b2_XXX

```

```

% ls
unify_vision_4_0b2_XXX
% cd unify_vision_4_0b2_XXX

```

```
% pwd
```

```
/cdrom/unify_vision_4_0b2_XXX
```

(上記の状態、リリースのディレクトリがカレントディレクトリとなりました。)

4. UNIFY 2000 をお使いの場合には、環境変数 **UNIFY** に UNIFY 2000 リリースの lib ディレクトリが設定されていることを確認して下さい。

5. **LD_LIBRARY_PATH** 環境変数に X11 ライブラリのパスが含まれていることを確認して下さい。システムによっては設定すべき環境変数が異なる場合がありますので御注意下さい。

6. インストール・ユーティリティを実行します。

```
install/install
```

7. リリースをインストールするディレクトリ名を入力します。

```
Enter the Unify VISION release directory: /home/VISION
```

```
Installation directory: /home/VISION does not exist.
```

```
Enter 'y' to create the directory, 'n' to exit installation: y
```

```
Copying Unify VISION to: /home/VISION ...
```

```
Copy of Unify VISION to: /home/VISION complete.
```

CD-ROM より、リリースがインストールされます。

8. 上記の「**テープからのインストール手順**」の**ステップ 8**へ進んで下さい。

以上